

# 2003年度中間決算 アナリスト説明会

2003年11月17日  
川崎汽船株式会社

# A-1. 2003年度中間期決算概要

(単位:億円)

		<b>当中間期</b>	前中間期	増減額	増減率	公表数値	公表増減(率)
売上高	連結	<b>3,621</b>	3,096	525	+17%	3,550	+71(2.0%)
	単体	<b>2,950</b>	2,443	507	+21%	2,860	+90(3.1%)
営業損益	連結	<b>343</b>	113	230	+204%	300	+43(14.3%)
	単体	<b>282</b>	72	210	+292%	240	+42(17.5%)
経常損益	連結	<b>304</b>	78	226	+288%	280	+24(8.6%)
	単体	<b>251</b>	52	199	+383%	235	+16(6.8%)
当期損益	連結	<b>159</b>	49	110	+224%	170	-11(6.5%)
	単体	<b>125</b>	28	97	+346%	115	+10(8.7%)
為替レート	平均	<b>¥119.24</b>	¥123.77	¥4.53高	+3.7%	¥120	¥0.76高
パンカー価格	平均	<b>\$171.06</b>	\$152.21	\$18.85高	+12.4%	\$170	+\$1.06

単体中間期 燃料費実績:351億円(+59億円)、消費トン数172万トン(+19万トン)

## A-2. 2003年度中間期財務指標(連結ベース)

	2002年 9月期末	2003年 3月期末	2003年 9月期末	前期末比 増減	2004年度末 KV-Plan計画
株主資本	775億円	820億円	1,025億円	+205億円	1,100億円
有利子負債残高	3,174億円	3,066億円	2,944億円	-122億円	2,750億円
ROE	12.7%	13.0%	34.5%	+21.5%	19%
ROA	3.0%	4.5%	11.6%	+7.1%	7%
株主資本比率	14.9%	15.9%	19.2%	+3.3%	22%
時価入-株主資本比率	19.4%	30.0%	42.3%	+12.3%	-
時価資本、有利子負債ともKV-PLANの目標値に向け、着実に改善方向。	3.14	1.98	1.30	-0.68	-
ROE、ROAともにKV-PLANの最終年度目標を大きく上回る。					

## B. 上半期の経営環境

### (マクロ経済環境)

- 米国：イラク戦争早期終結、株価回復、景気回復基調
- 欧州：弱含み、日本：緩やかな底離れの局面
- アジア：SARSへの影響は軽微、中国は高成長継続

### (当社の事業環境)

- 燃料油価格の高値推移
- 9月後半からの急激な円高進行
- コンテナ船各航路荷動き堅調
- コンテナ船欧州・北米・大西洋運賃率修復
- 不定期船・タンカー市況活況に推移
- 自動車船欧州・豪州向け輸送台数堅調

## C-1.部門別業績動向(コンテナ船)

### コンテナ船:当初見込みを上回る業績達成

(積高:02F上期103万TEU 03F上期113万TEU+9%増)

- 中国出し貨物を中心に好調に荷動き推移
- 北米・欧州・アジア航路とも当初見込積高達成
- 欧州・北米・大西洋向け運賃率修復
- アジア/地中海航路でサービス増強(4月下旬)
- 燃料油価格高値推移

## C-2.部門別業績動向(不定期専用船)

### 不定期専用船:当初見込みを上回る業績達成

- 不定期船:運賃市況活況に推移  
全船型で営業規模大幅増  
(稼働延<sup>ト</sup>ン5486万<sup>ト</sup>ン 6890万<sup>ト</sup>ン+26%)
- 自動車船:北米向け輸送台数減少  
欧州・豪州向け輸送堅調推移  
効率配船による運航コスト削減  
(積高77.7万台 77.3万台 横ばい)

## C-3.部門別業績動向(エネルギー-資源輸送)

### エネルギー-資源輸送:当初見込み通り

- 液化ガス運搬船:各プロジェクト共順調に進捗  
(稼動延<sup>ト</sup>137万<sup>ト</sup>横ばい)
- 電力炭:新造船投入効果もあり輸送量大幅増加。  
一部で逆鞘配船あり。  
(稼動延<sup>ト</sup>601万<sup>ト</sup> 746万<sup>ト</sup>+24%増)
- 油槽船:タンカー市況安定推移  
(稼動延<sup>ト</sup>1097万<sup>ト</sup> 1176万<sup>ト</sup> +7%増)

## C-4.部門別業績動向(連結子会社)

- 内航・フェリー部門：業績安定推移
- 運輸付帯サービス：貨物扱い増に支えられ業績安定推移、なお、航空貨物はSARSの影響で扱い高減少



## D.当上半期連結決算ファクター別増減要因分析

(経常利益：公表280億円、前年同期78億円 304億円)

<u>損益変動要因</u>	対公表比	対前年同期比
• 為替変動	6億円	18億円
• バンカー変動	1億円	23億円
• 市況変動	+28億円	+ 193億円
• 営業規模拡大	+0億円	+ 24億円
• <u>合理化・コスト削減等</u>	+3億円	+ 50億円
• 合計	+ 24億円	+226億円

# E. 2003年度通期見込

(単位:億円)

		通期見込	期央公表 (8月7日)	増減額	3四半期 累計見込	2002年度通 期実績	増減額
売上高	連結	7,000	7,000	-	5,300	6,327	+673
	単体	5,650	5,600	+50	4,300	4,998	+652
営業損益	連結	600	550	+50	480	293	+307
	単体	470	430	+40	380	198	+272
経常損益	連結	530	510	+20	430	237	+293
	単体	430	410	+20	350	164	+266
当期損益	連結	300	300	-	220	104	+196
	単体	210	190	+20	170	65	+145
配当	単体	10円	6円	+4円	-	5円	+5円
為替レート	平均	¥115	¥120	¥5高	¥115	¥122.29	¥7.29高
バンカー価格	平均	\$169	\$165	\$4高	\$169	\$161.60	\$7.4高

前提:下期為替110円、バンカー価格\$166

## F. 部門別業績動向

- コンテナ船：燃料費高値推移、円高懸念、需要動向に機敏に対応した  
配船調整、運航コストの更なる削減、運賃修復  
**業績は当初見込みを上回る**
- 不定期専用船：不定期船における運賃市況は高水準で推移  
自動車船における堅調な荷動きに対応した効率配船と  
更なる経費削減  
**業績は当初見込み通り**
- エネルギー資源輸送：電力炭規模拡大、油槽船市況下期安定推移  
**業績安定推移**

## G-1.通期連結決算ファクター別増減要因分析

(経常利益:公表510億円、前期237億円 530億円)		
<u>損益変動要因</u>	<u>対公表比</u>	<u>対前期比</u>
• 為替変動	40 億円	58億円
• バンカー変動	5 億円	19億円
• 市況変動	+ 55 億円	+ 250億円
• 営業規模拡大	+ 5 億円	+ 30億円
• <u>合理化・コスト削減等</u>	+ 5 億円	+ 90億円
• 合計	+ 20億円	+ 293億円

## G-2. 03F損益変動要素(通期ベース)

- |   |       |         |
|---|-------|---------|
| • 円ドル為替1円安/高                            | 単体+/- | 7億円     |
|   | 連結+/- | 8億円     |
| • 燃料単価\$10/K.Ton安/高                     | 単体+/- | 23 億円   |
|   | 連結+/- | 24 億円   |
| • 市況 コンテナ運賃10ドル<br>不定期 10%<br>タンカー WS10 | 単体+/- | 22.5 億円 |
|   | 単体+/- | 9 億円    |
|   | 単体+/- | 6 億円    |
|   | 連結+/- | 9 億円    |

# H-1. KV-Plan 収支計画進捗状況

(単位:億円)

		02F	03F	04F	KV-Plan
		実績	予想	数値目標	目標達成度
為替	/US\$	¥122	¥115	¥130	¥15高
バンカー	/MT	\$162	\$169	\$130	\$39高
単体	売上高	4,998	5,650	5,000	113%
	営業利益	198	470	270	174%
	経常利益	164	430	240	179%
	当期利益	65	210	130	162%
連結	売上高	6,327	7,000	6,500	108%
	営業利益	293	600	400	150%
	経常利益	237	530	350	151%
	当期利益	104	300	200	150%

連結・単体ともKV-PLAN最終年度の目標数値を大幅に上回る

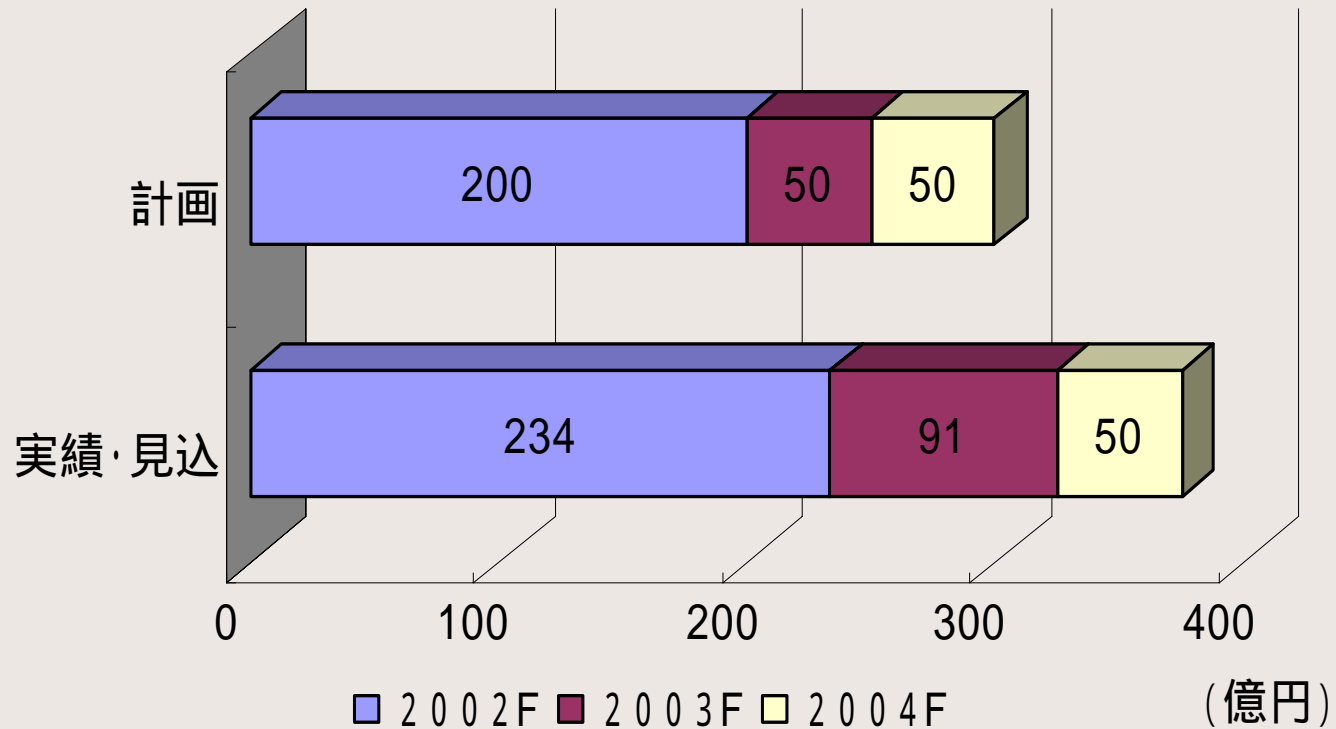
計画前提より円高、バンカー高を克服

## H-2. KV-Plan数値目標達成状況(連結ベース)

	2001年度 通期実績	2002年度 通期実績	2003年度 通期見込	2003年度 KV-Plan計画	2004年度 KV-Plan計画
売上高	5710億円	6327億円	7000億円	6300億円	6500億円
経常利益	120億円	237億円	530億円	230億円	350億円
株主資本	777億円	820億円	1150億円	950億円	1100億円
有利子負債残高	3356億円	3066億円	2950億円	2950億円	2750億円
ROE	6.5%	13%	30%	13%	19%
ROA	2.3%	4.5%	10%	5%	7%
株主資本比率	14.6%	15.9%	21%	19%	22%
営業CF	331億円	329億円	650億円	450億円	550億円
フリーCF	146億円	92億円	180億円	220億円	200億円
有利子負債比率	79.8%	77%	72%	74%	70%

主要財務指標のうち、利益関連指標は計画を大幅に上回る

## H-3. KV-Plan 数値目標達成状況 (CS-300コスト削減運動)



3ヵ年削減目標額300億円を2年間で達成の見込み



## I-1. KV-Plan基本課題の遂行状況

### < 基本課題 >

1. コスト削減・IT活用による企業体質の一層の強化
2. 地域密着型グローバル化の推進と営業分野間のシナジー効果の追求
3. ロジスティクス事業への取り組み強化
4. 輸送技術の革新の追求、安全運航の徹底と環境保全への取り組み強化
5. 経営の透明性と効率性を目指すコーポレートガバナンス体制の強化

## I-2. KV-Plan基本課題の遂行状況

### < 基本課題1 > コスト削減・IT活用

- 03年度コスト削減目標50億円を上回る91億円削減見込み
- 港湾情報データベース「K-PIA」運用開始(5月)

### < 基本課題2 > 地域密着型グローバル化

- 天然ガス輸送事業の米国拠点開設(5月)
- 欧州近海完成車輸送事業の完全自営化(6月)
- 中国重慶事務所開設(7月) 北京駐在員事務所設立予定

### < 基本課題3 > ロジスティクス事業への取り組み強化

- インドネシア陸送合弁会社設立(5月)
- 上海合弁フォワーディング会社設立認可取得(11月)

## I-3.KV-Plan基本課題の遂行状況

### < 基本課題4 > 輸送技術革新、安全運航徹底と環境保全

- 圧縮天然ガス(CNG)輸送船の主要設計の承認(5月)
- 危険品貨物ハンドリング・ガイドの社内イントラネット化(7月)
- 「環境レポート2003」の発行(8月)
- タンカー船隊100%ダブルハル化にむけ整備(8月)
- ISO14001の用船への拡大認証取得(9月)
- Dow Jones社の社会的責任投資インデックスに採用(9月)

### < 基本課題5 > コーポレートガバナンス体制の強化

- コンプライアンス委員会設置(4月)
- ストックオプションの発行(7月)